

放課後等デイサービス アイ・らんど忠生

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|--|---|----|---------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 人数によっては少し狭いが、外出や活動内容でカバーしている |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 基準以上の職員を配置している。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | | ○ | 出入りにスロープがあればよい。 |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 活動記録の振り返りを常時行っている |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | | ○ | | 昨年度より毎年実施を始めた。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | ホームページにて公開 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 現在行えていない。 |
| 適切な 支援の 提供 | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 社内、店舗内で実施している。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 一人ひとりのニーズに合わせて作成している |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 脳機能バランサーを導入している。今後しっかり活用していく |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 非常勤職員含め作成に関与している |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 活動プログラムを日替わりで行っている |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 学級日には遠足など、平日には行えない活動をおこなっている |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 一人ひとりのニーズに合わせて作成している |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 非常勤職員含め打ち合わせを実施している |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | | 状況により行えないので、紙面での振り返りを実施している |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 全職員が記録に携われるよう調整している |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | | ○ | | 電話や送迎時が主になっているが、今後は定期的に面談の実施をしていく | |

| | | | | | |
|--------------|--|--|---|------------------------|--------------------------------|
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ | | 行っている |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | よく関わる職員が参加している |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | | ○ | 行っているが、十分ではない。今後より良い関係を築いていく |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | 現在該当者なし |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | ほぼ出来ていない。今後は行っていく。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | ほぼ出来ていない。今後は行っていく。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | 状況確認や支援計画の共有を行っている |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | ほぼ出来ていない。今後は行っていく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | 参加できていない |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | 連絡帳や送迎時にて保護者に伝えている |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | ○ | 状況により支援を行っているが、十分といえず |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 契約時に行っている |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | | ○ | 状況により助言を行っている |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | 必要としない保護者が多いため開催していない。今後検討していく |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 対応している |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | 毎月会報にて情報を発信している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | 注意している |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 配慮している |
| 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | 現在出来ていない。今後計画していく | |
| 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | 保護者への周知が出来ていない。今年度中に行う | |
| 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | | ○ | 今後年2回実施していく | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|---|---------------------------------------|
| 非常時等の対応 | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 虐待防止の研修を年1回以上実施している |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | 周知できていない。契約時に周知、現状利用者にはこれから同意をお願いしていく |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 対応している |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 共有している |

ご利用様のアンケート、施設職員のアンケートの集計結果をまとめたものです。